

# 2020 Houzz & Home (日本)

住宅リフォーム・リノベーション  
2019年・2020年 市場調査



# 概要



## ジェネレーションX世代がリノベを牽引

回答者の約7分の1が2019年中にリフォーム・リノベーションを行い、工事を行った部屋の数平均3つでした。その中で、ジェネレーションX世代(40～54歳)が約半数を占め(45%)、続いてベビーブーマー世代(55～74歳)が37%、ミレニアル世代(25～39歳)が16%でした。

## リフォーム・リノベーションの支出傾向

リフォーム・リノベーションにかかる費用の中央値は、平均的な工事の規模縮小に伴い、2018年の200万円から2019年は150万円に減少しました。しかし、ハイエンド層についてはそれとは逆の動きがあり、上位10%の支出額の平均は、2018年から200万円増えて、1500万円でした。

**備考：**この調査が実施されたのは2020年初頭で、まだ国内で新型コロナウイルス感染症の流行が拡大する前だったため、「コロナ禍」が今年に予定されていたリフォーム・リノベーションに与える影響については加味されていません。

## リフォーム・リノベーションの動機

ジェネレーションX世代がリフォーム・リノベーションを実施する理由として挙げたのは「家族構成やライフスタイルの変化に対応するため」(41%)がもっとも多く、また60%が「現在の住まいから引っ越すつもりはない」と回答しています。ミレニアル世代とベビーブーマー世代では「ようやく時間的な余裕ができたから」がリフォーム・リノベーションを実施する一番の理由でした(それぞれ42%と36%)。

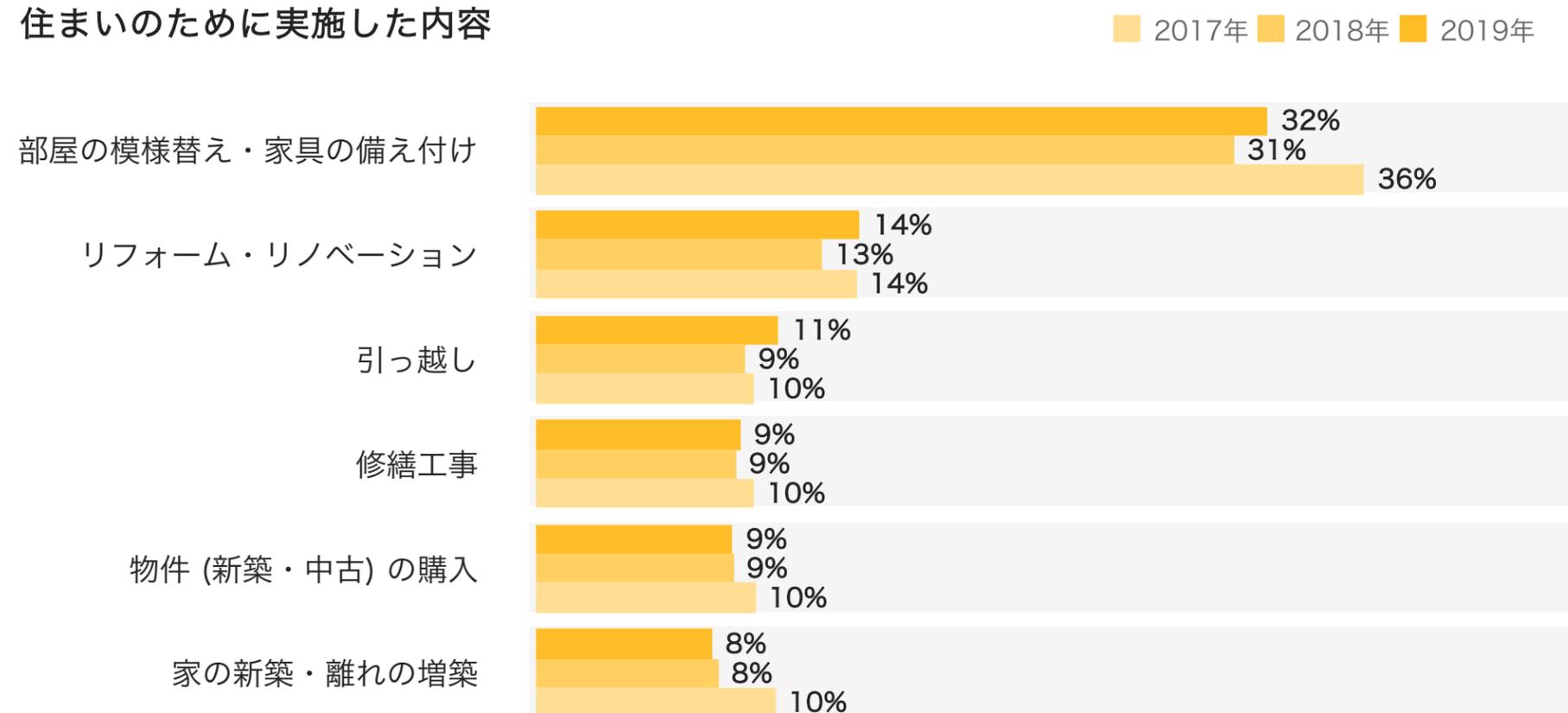
## 計画には時間がかかる

全体的に、リフォーム・リノベーションの計画は実際の施工よりも時間がかかっています。中でもキッチンのプランニングにかかった平均時間は7か月で、工事の平均時間(3.2か月)の2倍以上の長さでした。

# 住まいのために実施したこと

右のグラフは、Houzz 日本サイトに登録しているホームオーナーが行った住まいのプロジェクトを、年別 (2017年、2018年、2019年) で表しています。その下の表とグラフは、リフォーム・リノベーションの実施年別にかかった費用の中央値、トップ10%、そして世代別の中央値を表しています。

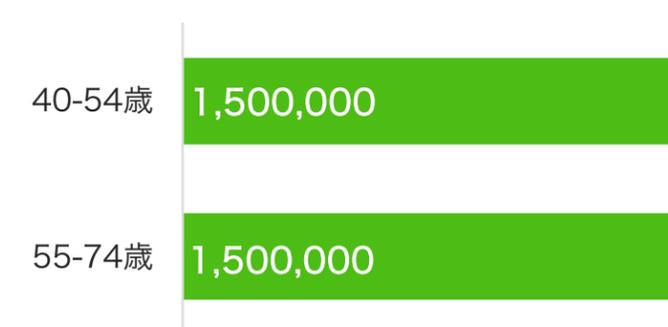
## 住まいのために実施した内容



## リフォーム・リノベーション費用 実施年別の中央値 (円)

	2017	2018	2019
中央値	2,000,000	2,000,000	1,500,000
トップ10%	12,000,000	13,000,000	15,000,000

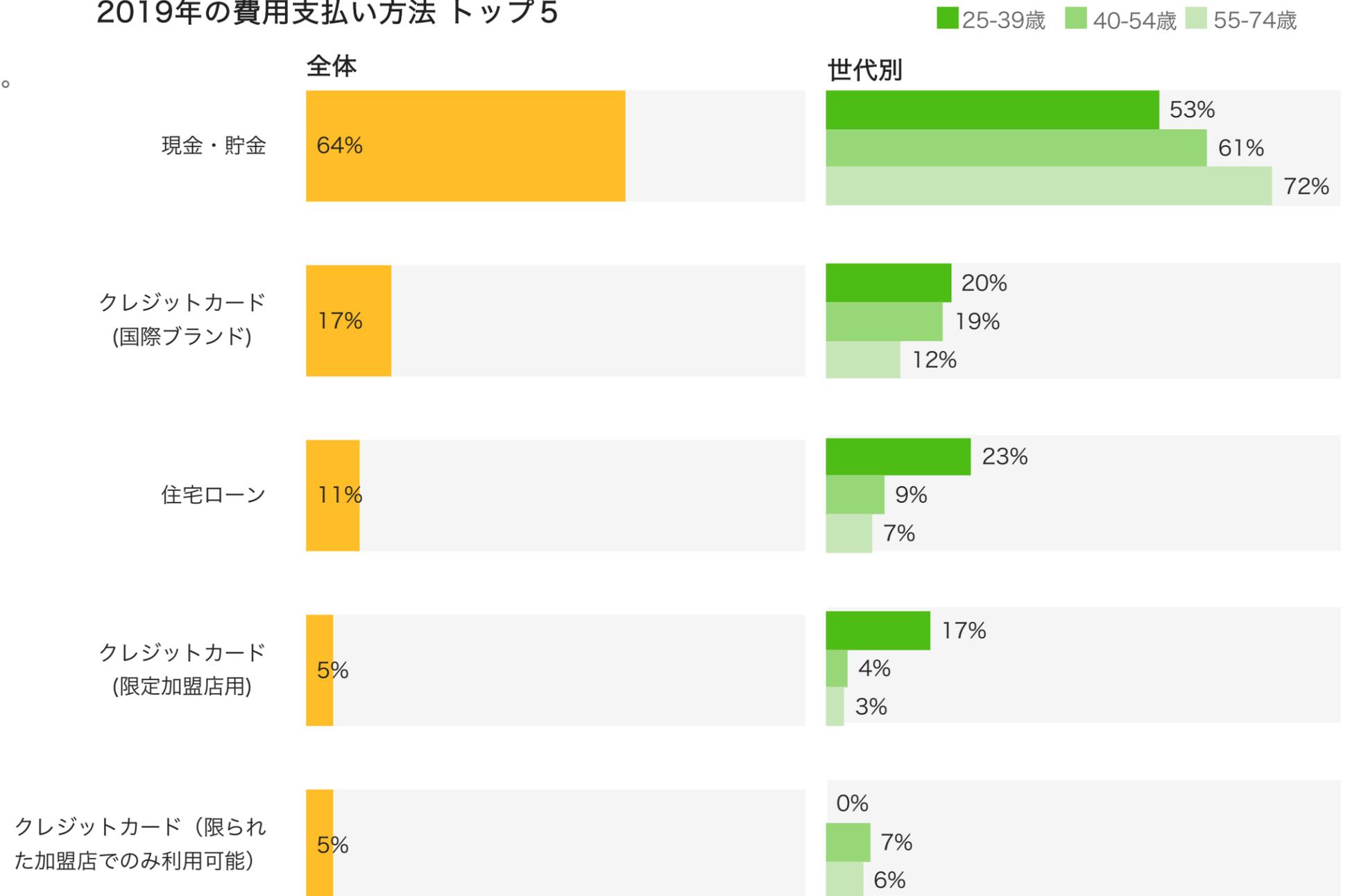
## 2019年に行われたリフォーム・リノベーション 費用の世代別中央値 (円)



# リフォーム・リノベーション費用の支払い方法

右のグラフは、2019年(\*)にリフォーム・リノベーションを行ったホームオーナーの、費用の支払い方法上位5位を、全体および世代別に比較して表しています。

2019年の費用支払い方法 トップ5



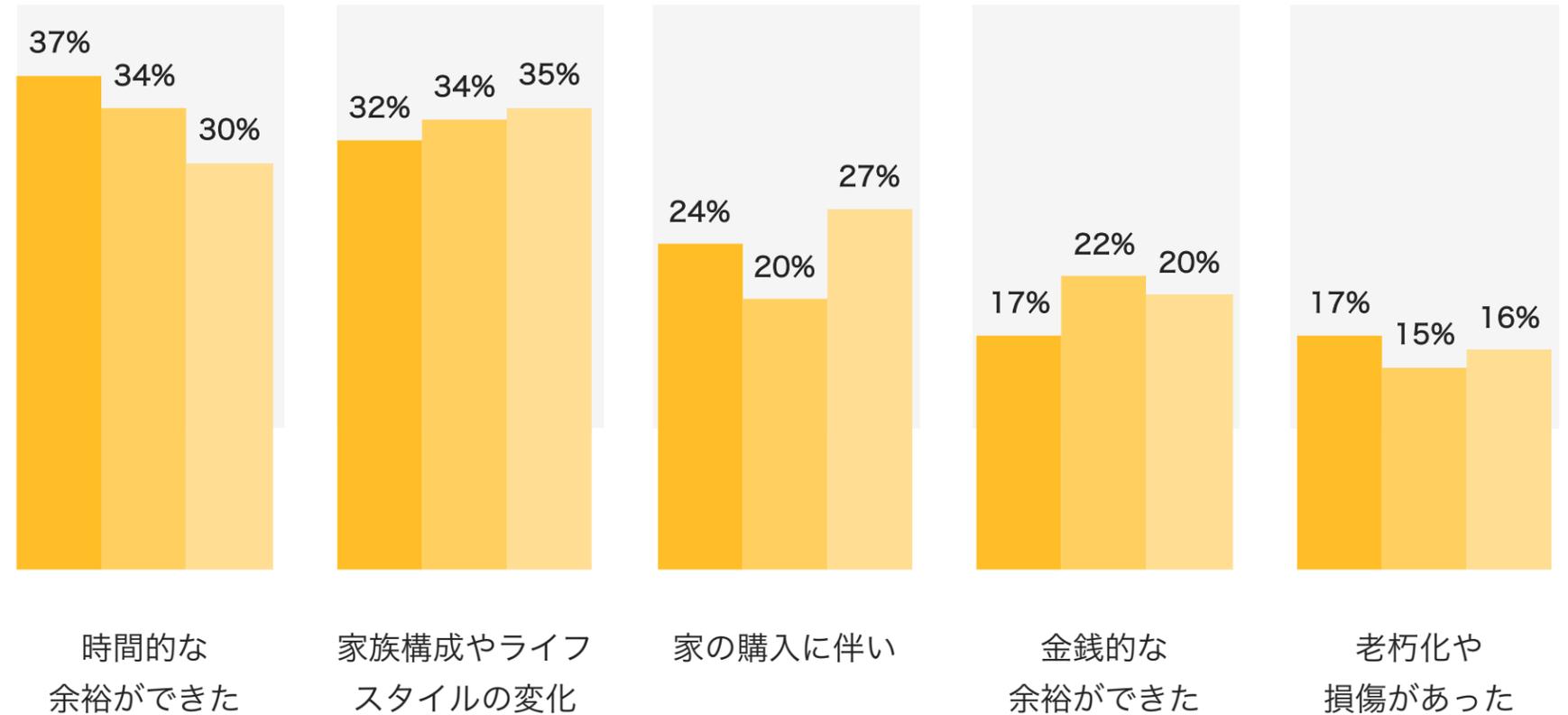
(\* 質問の内容を変更したため、前年との比較はできません。)

# リフォーム・リノベーションを行った主な理由

右のグラフと表は、ホームオーナーがリフォーム・リノベーションを行った理由のトップ5を表しています。

リフォーム・リノベーションを行った理由 トップ5

2017年 2018年 2019年



## 時間の余裕ができた

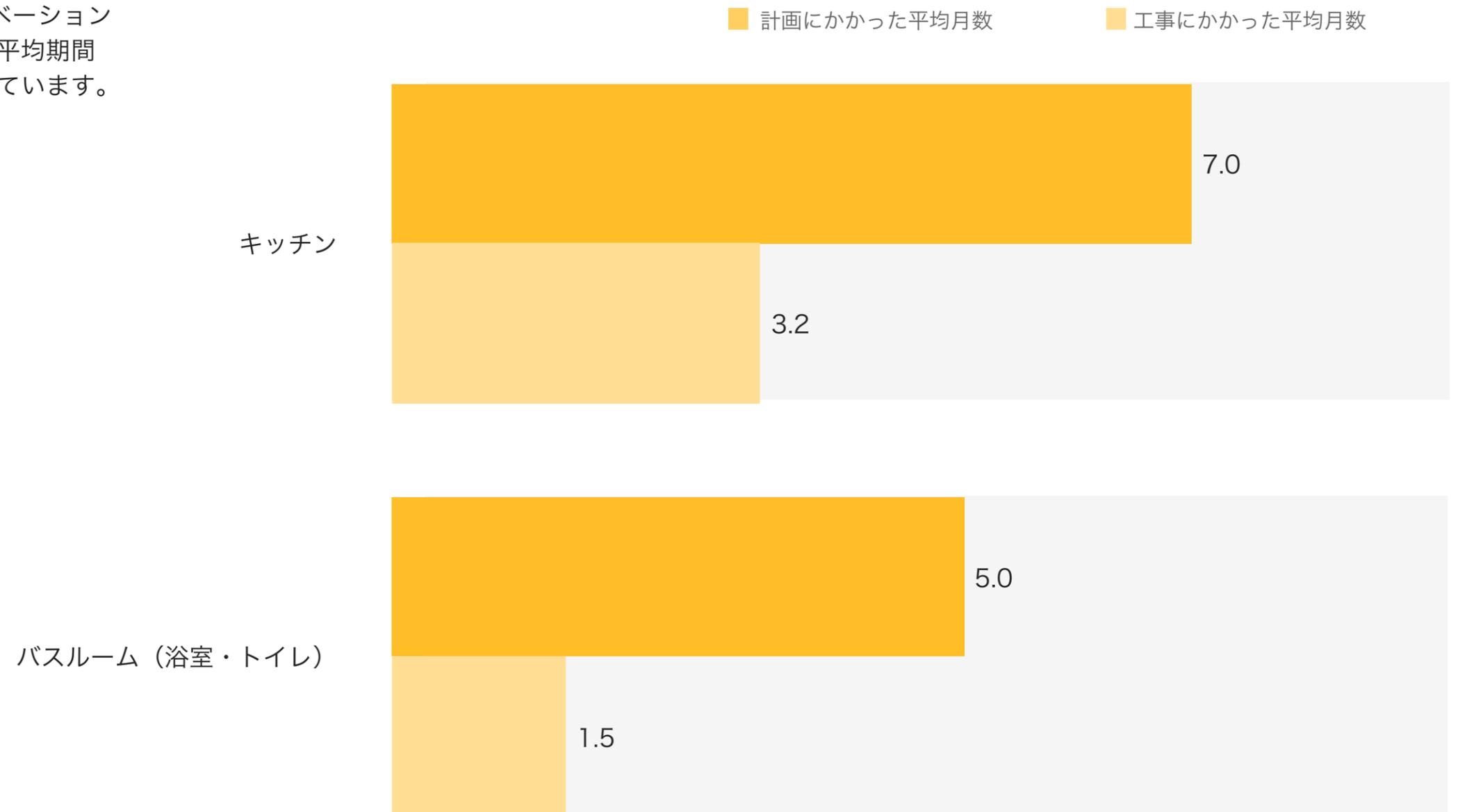
25-39歳	42%
40-54歳	33%
55-74歳	36%

## 家族構成やライフスタイルの変化

25-39歳	25%
40-54歳	41%
55-74歳	22%

# リフォーム・リノベーションにかかった期間

右のグラフは、2019年にリフォーム・リノベーションを行ったホームオーナーが、計画にかかった平均期間と工事にかかった平均期間を、部屋別に表示しています。

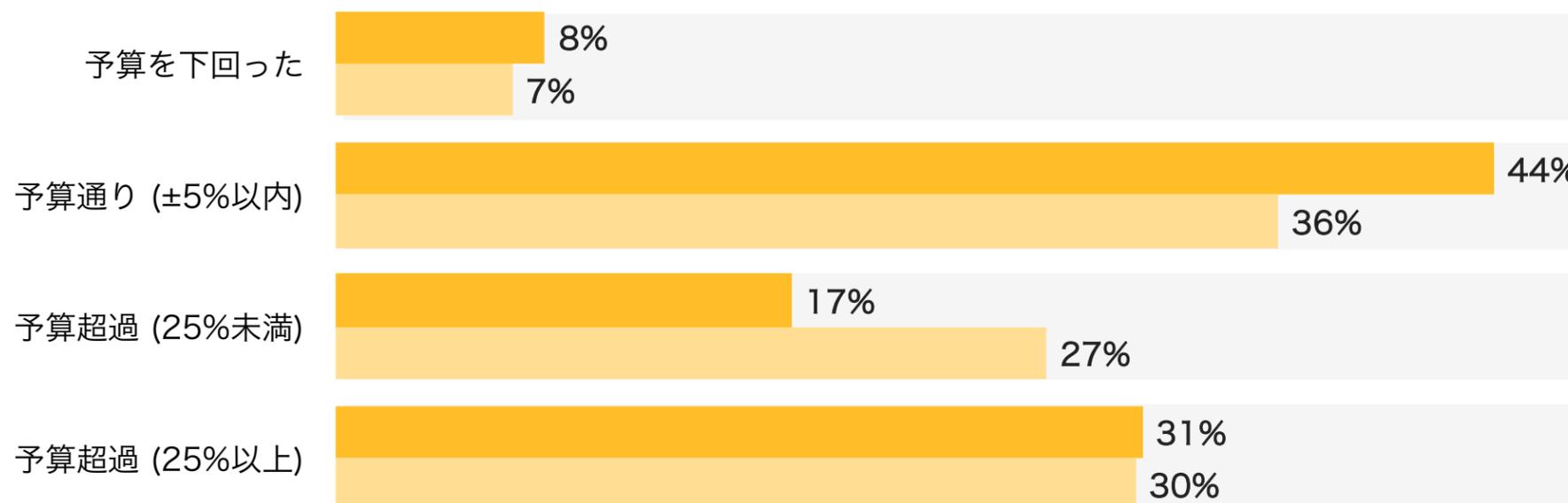


# リフォーム・リノベーションの 予算管理

■ 2017年 ■ 2019年

右のグラフは、2017年と2019年(\*) にリフォーム・リノベーションを行ったホームオーナーの、当初予算と実際にかかった費用について表しています。その下の表は、リフォーム・リノベーションの開始前に予算を決めていたホームオーナーの割合と、予算を上回った場合の理由トップ3を表しています。

リフォーム・リノベーションをする際に設定した当初予算と実際にかかった費用 (2017年と2019年の比較)



リフォーム・リノベーションを始める前に予算を決めていたホームオーナーの割合

2019年	77%
2017年	90%

予算を上回った理由 トップ3

商品・サービスの価格が高かった	31%
高額な商品・建材を購入した	25%
建築に関連する想定外の問題があることが明らかになった	22%

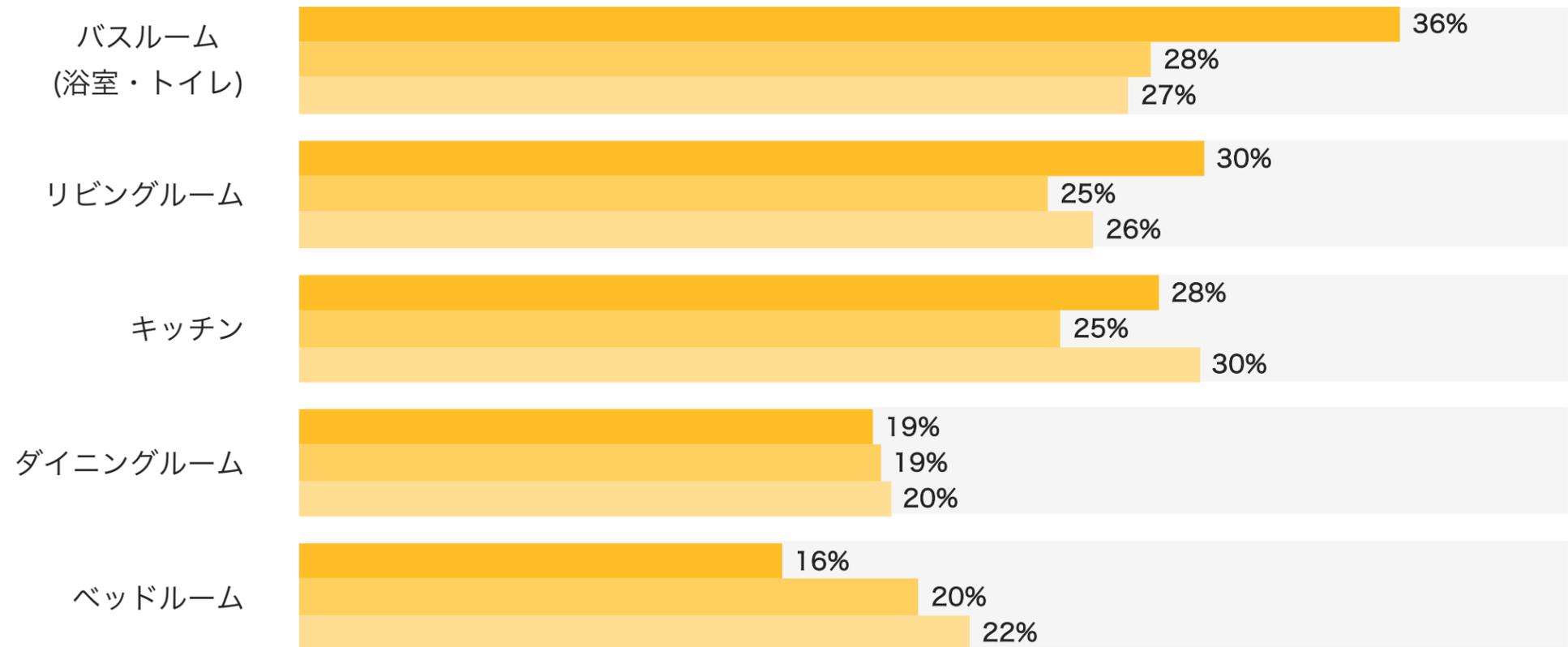
(\* 2018年に同データは取得していません。)

# リフォーム・リノベーションが多く実施された場所

右のグラフは、リフォーム・リノベーションがもっとも多く実施された場所を、年別(2017年、2018年、2019年)で表しています。その下の表は、2019年に室内、エクステリア、庭・外構の各場所で、もっとも多く取り換えられた設備を表しています。

リフォーム・リノベーションが実施された場所 (年別)

2017年 2018年 2019年



2019年に交換された室内設備  
トップ3

冷房設備	33%
電気設備	30%
給湯器	29%

2019年に交換されたエクステリア設備  
トップ3

外壁 (塗装)	22%
窓や天窓	18%
屋根	17%

2019年に交換された庭・外構設備  
トップ3

植木鉢もしくは 植木ボックス	8%
フェンス	6%
花壇	5%

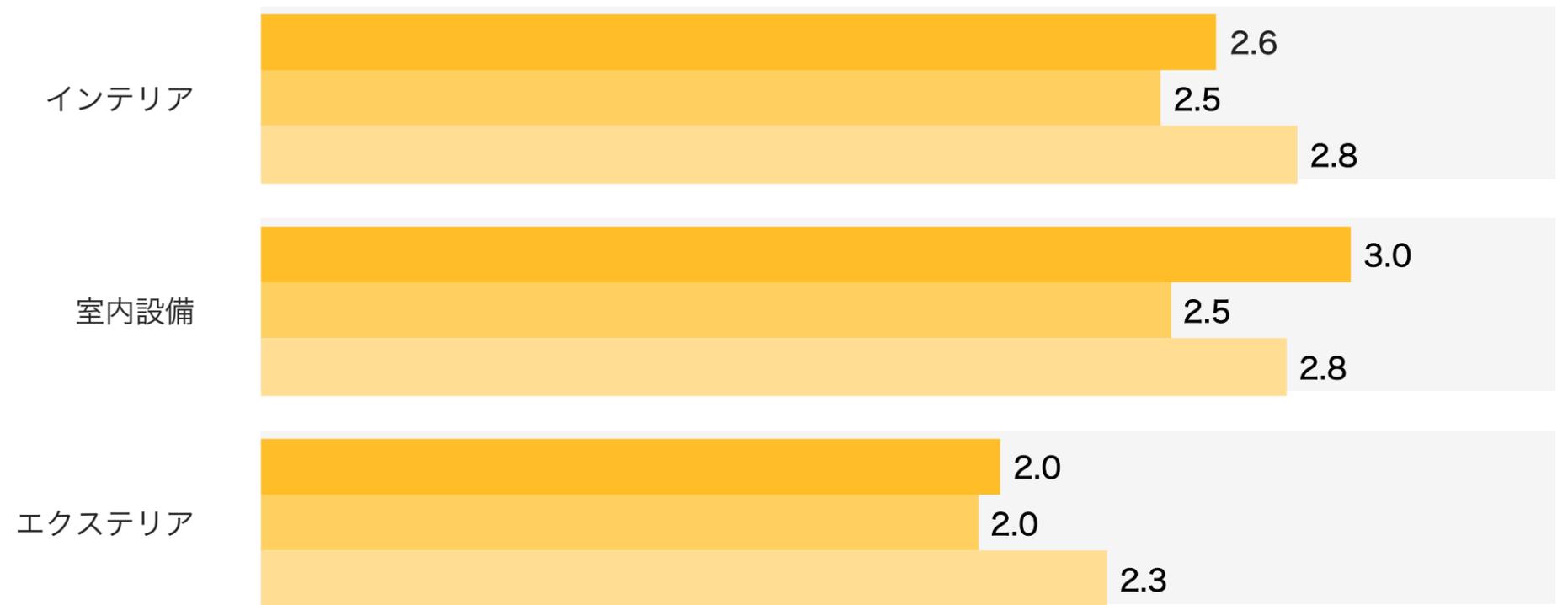
# リフォーム・リノベーションで交換された設備の個数

右のグラフは、リフォーム・リノベーションが実施された際に交換された機能や設備の平均個数を、場所別（インテリア、室内設備、エクステリア）および年別（2017年、2018年、2019年）に表しています。

その下の表は、2019年における、世代別の平均交換個数を表しています。

取り換えられた機能・設備の平均個数（年別）

2017年 2018年 2019年



世代別 平均個数 (2019年)

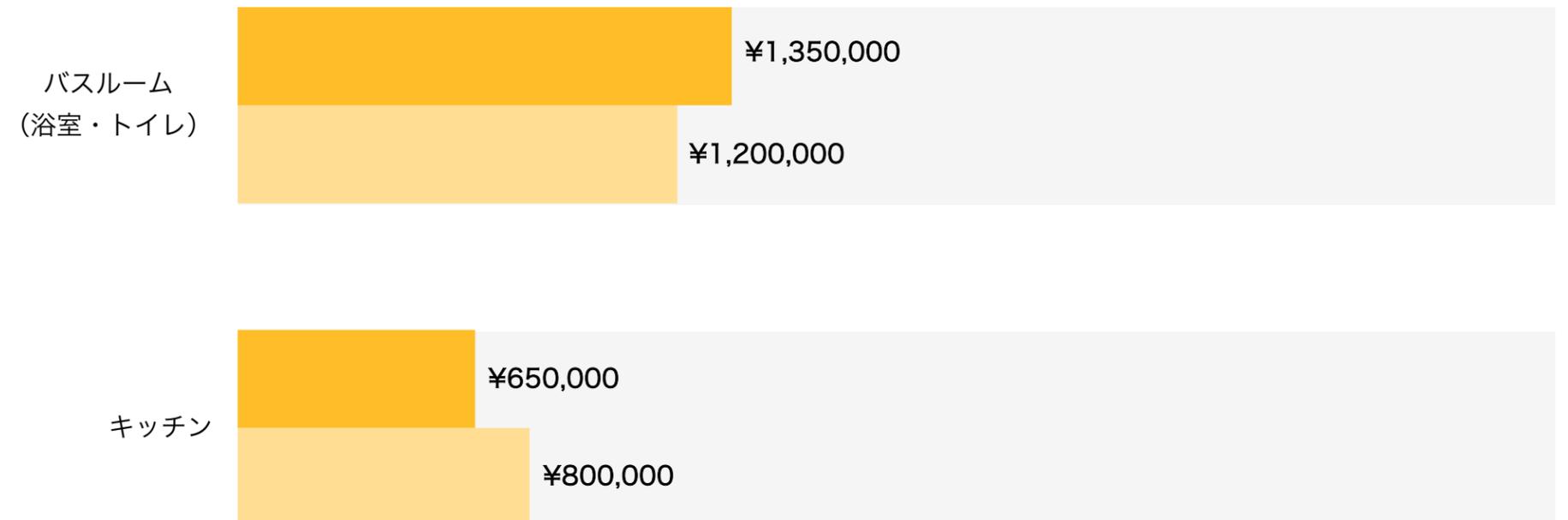
インテリア		室内設備		エクステリア	
25-39歳	2.6	25-39歳	3.3	25-39歳	2.2
40-54歳	2.9	40-54歳	3.1	40-54歳	1.6
55-74歳	2.5	55-74歳	2.8	55-74歳	2.5

# リフォーム・リノベーションにかかった費用 (室内)

右のグラフは、バスルームおよびキッチンのリフォーム・リノベーションを実施した際にかかった費用の、2018年と2019年の中央値を表しています。その下の表は、2019年にかかった費用の中央値を2018年と比較した際の増減率を表しています。

各部屋のリフォーム・リノベーションにかかった費用の中央値

■ 2018年 ■ 2019年



2019年にかかった費用の中央値の増減率 (前年比)

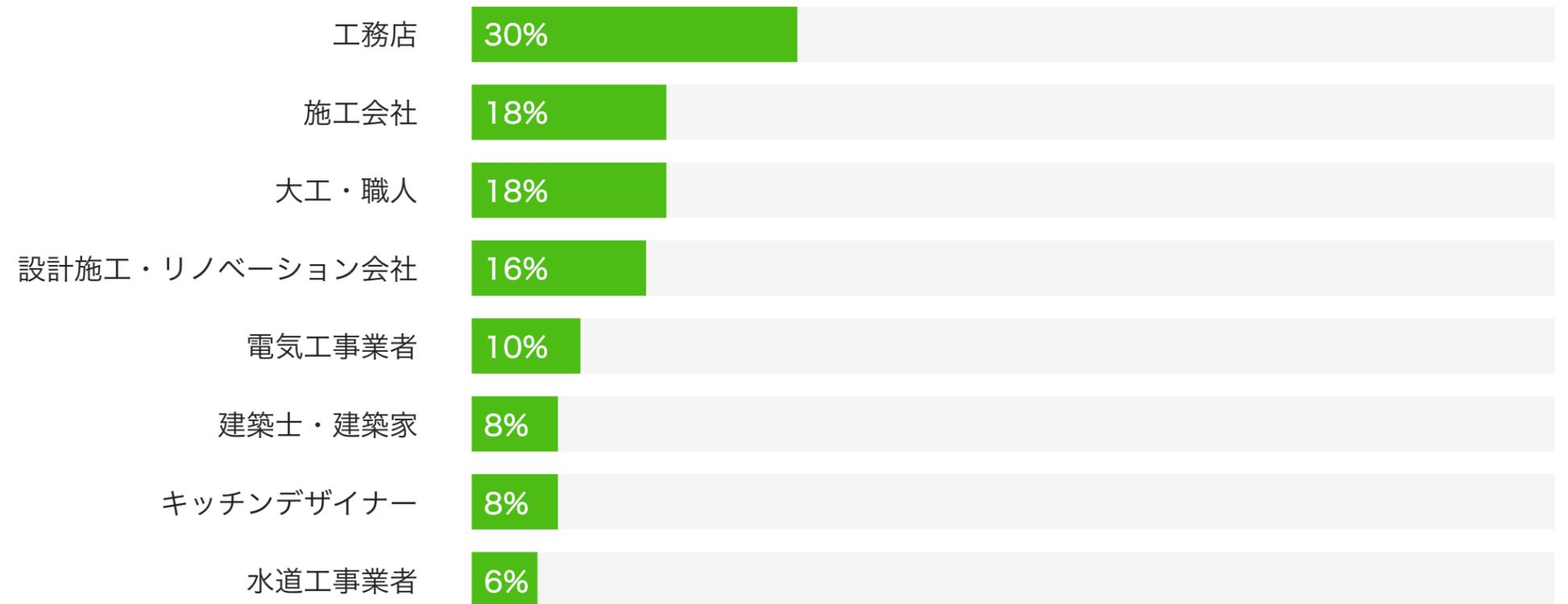
バスルーム (浴室・トイレ)	13%
キッチン	-19%

# リフォーム・リノベーションを 依頼した専門家の業種

右のグラフは、2019年にリフォーム・リノベーションをしたホームオーナーが依頼をした専門家を、業種別に表しています。

その下の表は、リフォーム・リノベーションを専門家に依頼した割合を、年別と世代別にそれぞれ表しています。

リフォーム・リノベーションを依頼した専門家の業種 (2019年)



専門家に依頼した割合 (年別)

2019年	84%
2018年	86%
2017年	89%

専門家に依頼した割合 (世代別)

25-39歳	71%
40-54歳	75%
55-74歳	100%

# アンケート調査方法



## アプローチ

Houzz は世界最大級の家づくりとインテリアデザインのプラットフォームで、家づくりに必要なすべての情報をウェブサイトやアプリで提供しています。部屋の模様替えから、リフォーム、リノベーション、注文住宅など住まいに関するあらゆることについて、世界中の「住む人」と「住まいの専門家」をつないでいます。Houzz では、世界中の4,000万人以上のホームオーナーの中でリフォーム・リノベーションを行った人を対象に、毎年家づくりに関するアンケート調査を実施しています。アンケートの調査結果は、家づくりを行うユーザー（専門家を含む）に参考とさせていただく目的で公開しています。「Houzz & Home」は、住宅のリフォーム・リノベーション、新築、家具や部屋の装飾など、インテリアの変更に関する Houzz でもっとも大規模な調査です。この調査は、2020年2月5日～2020年3月5日に実施され、部屋の改修、住宅設備の交換、エクステリアの工事など、2019年中に実施されたリフォーム・リノベーションの状況についてまとめています。また、費用と予算、住まいの専門家への依頼状況、リフォーム・リノベーションを実施する理由のほか、2020年中のリフォーム・リノベーションの予定についても調査を行いました。

## 調査対象

この調査は、160問で構成されており、Houzz に登録している18歳以上の国内ユーザーのうち 2019年中にリフォーム・リノベーションを行った人を対象に実施されました。日本では、2,038名から回答があり、そのうち 1,433名のホームオーナーからの有効回答と、2019年中にリフォーム・リノベーションを実施したホームオーナー 202名の有効回答を集計したのになります。

## サンプリング

本調査は、電子メールで Houzz に登録しているユーザーに配信され、それを集計したのになります。回答者にデータ公開の承諾を得て、アンケート結果を公開しています。

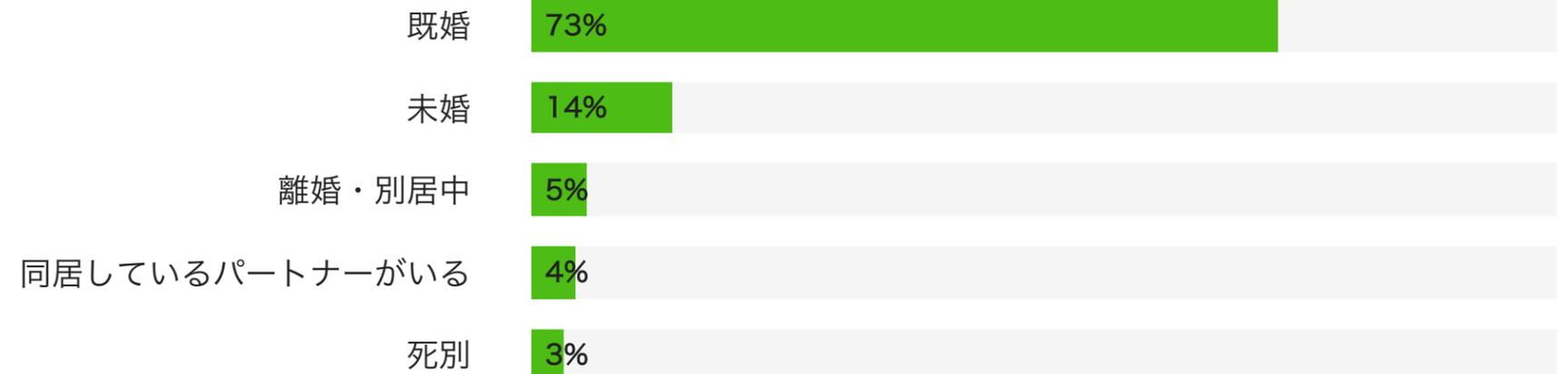
# 參考資料

---

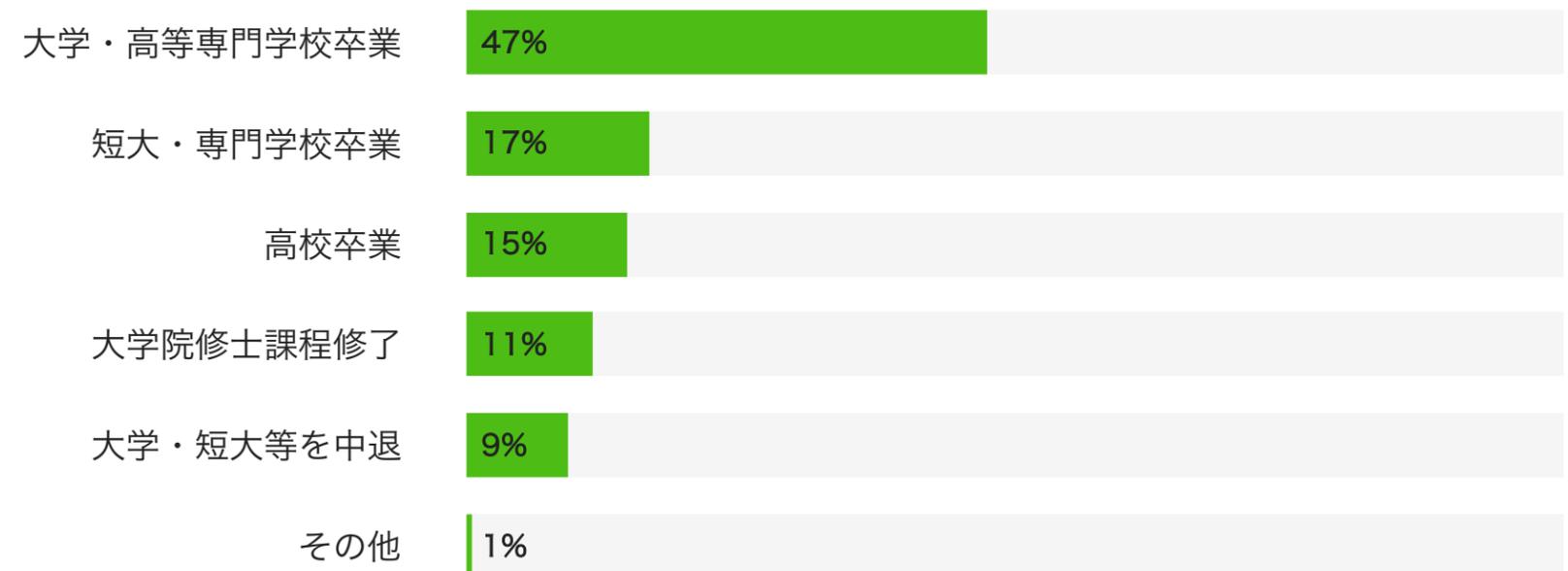


# A. 2019年にリフォーム・リノベーションをした Houzz ホームオーナー層

## 配偶者の有無



## 最終学歴



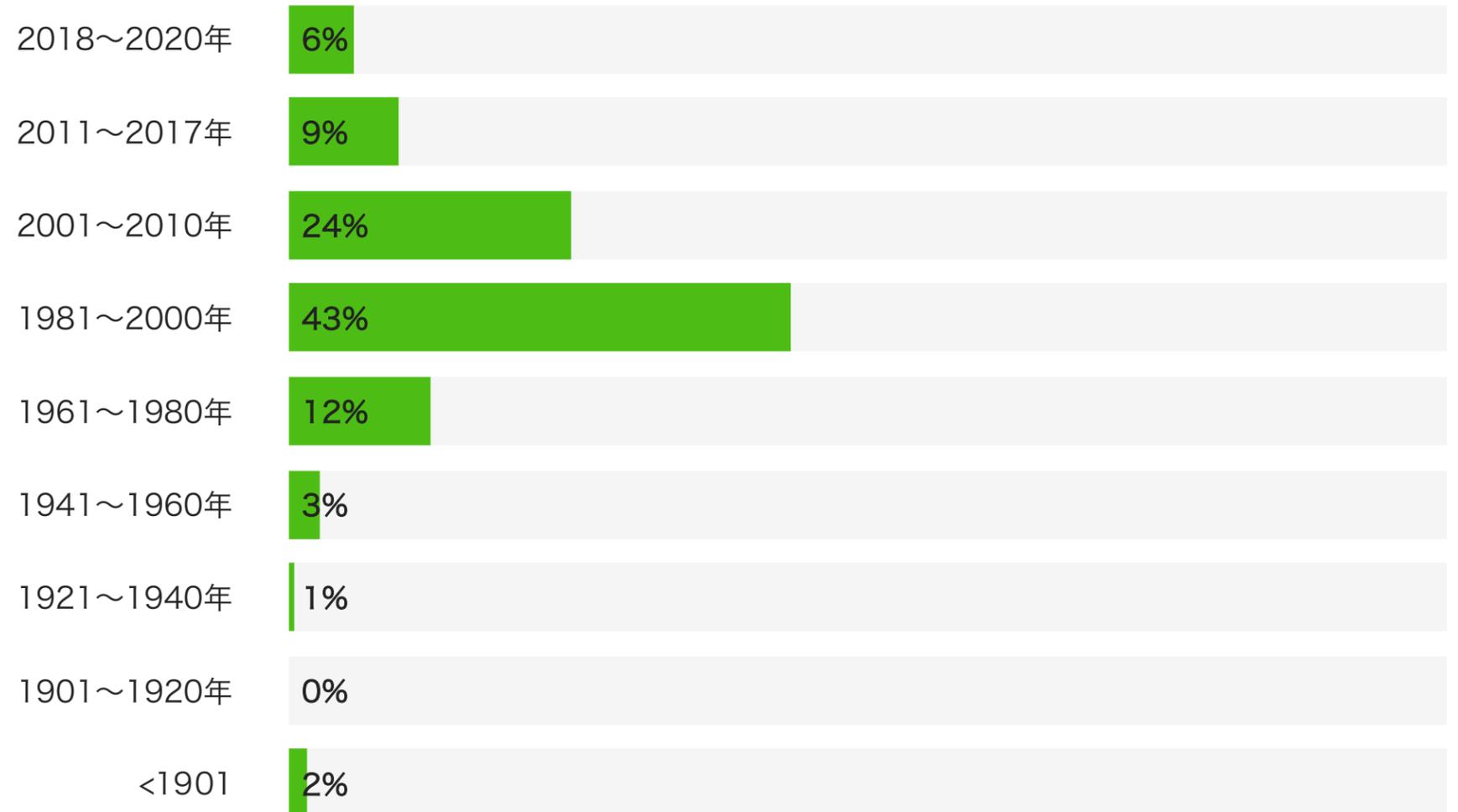
## 世帯収入

子供が同居している世帯 **48%**

750 万円未満	<b>38%</b>
750 万円以上1250 万円未満	<b>42%</b>
1250 万円以上	<b>20%</b>

## B. 2019年にリフォーム・リノベーションをした住宅の特徴

### 建築年



### 家のタイプ

一戸建て住宅（一世帯用）	62%
中・高層マンション・アパート（4階建て以上）	22%
一戸建て住宅（二世帯・三世帯住宅）	14%
その他	2%

### 自己推定の住宅価格

3000万円未満	64%
3000万円以上5000万円未満	23%
5000万円以上	13%